

## 地域で学び地域と育つ神山校～中山間地の地域内循環モデルの構築～

### これまでの取組

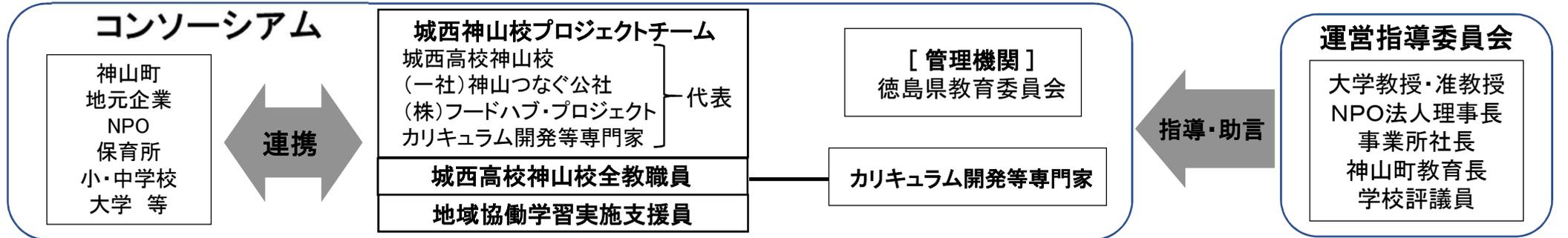
- ・ 保小中高連携(防災教育, 食育, 木育)
- ・ 地域連携(神山創造学, 課題研究, 高齢者支援)
- ・ IT活用と情報発信(民間企業との映像制作)
- ・ 産業の担い手育成(ファブラボを活用した部活動)

### 成果

- ・ 高校・町役場・地場企業の連携体制を構築
- ・ 多様な年代, 人との交流
- ・ 地域社会の課題を解決
- ・ 町による通学費や住まいのサポート

### 課題

- ・ 学習内容と進路先とのギャップ
- ・ 6次産業化のための施設整備
- ・ 町内就職先の開拓



### 令和元年度の目標

#### 【対教員】

- 1 地域との協働による学習の質を高めるため, 各研究開発の内容を教育課程に落とし込み, カリキュラム・マネジメントを行う。
- 2 生徒自身が育成したい力を理解し, 自律的なキャリアデザインができるよう授業改善や意識改革を図る。

#### 【対コンソーシアム】

- 1 会議体を立ち上げ, 神山校の現状と課題の認識共有を図る。
- 2 構成員と教員等の意見交換が活発に行われる会議形態を模索する。

### 取組状況

#### 【研究開発の内容】

- 1 「神山創造学」の再構築
- 2 地域性を生かした質の高い教育環境の整備
- 3 地域の生産・交流拠点の創出
- 4 地域を学びの場とした実践

#### 【対教員】

- 1 「神山創造学」と「課題研究」の理想的な接続方法を協議する。
- 2 生徒の主体性を引き出す授業を実施する。

#### 【対コンソーシアム】

- 1 会議とオープンスクールや課題研究発表会を同日開催とし, 神山校の現状を知る機会とする。
- 2 進捗状況に即して分科会を設け, 各立場から意見を出しやすくする。

### 成果と課題

#### 【成果】

- 1 研究開発の取組を掛け合わせたプロジェクト型学習を立ち上げることができた。
- 2 「神山創造学」を核とした他教科との連携が進み, 生徒の進路実現につながった。
- 3 生徒が高い専門性を有する地域人材から学んだり, 町民から感謝されたりすることにより, 学習意欲や自己肯定感の向上が見られた。
- 4 コンソーシアム構成員から各取組の改善や発展に向けた提言を受け, 教育の質の向上につながっている。

#### 【課題】

- 1 本事業の取組がこれまで以上に生徒の目指す力の育成につながるよう, 生徒に育成したい力を基にしたカリキュラム・マネジメントの再構築及び各教科のルーブリック作成を行う。
- 2 生徒のキャリアへの意識は高まりつつあるが, 進路実現に向けた出口の開拓を進める必要がある。
- 3 会議を欠席したコンソーシアム構成員への連絡体制を強化し, 協働体制をより強固なものにしていく。